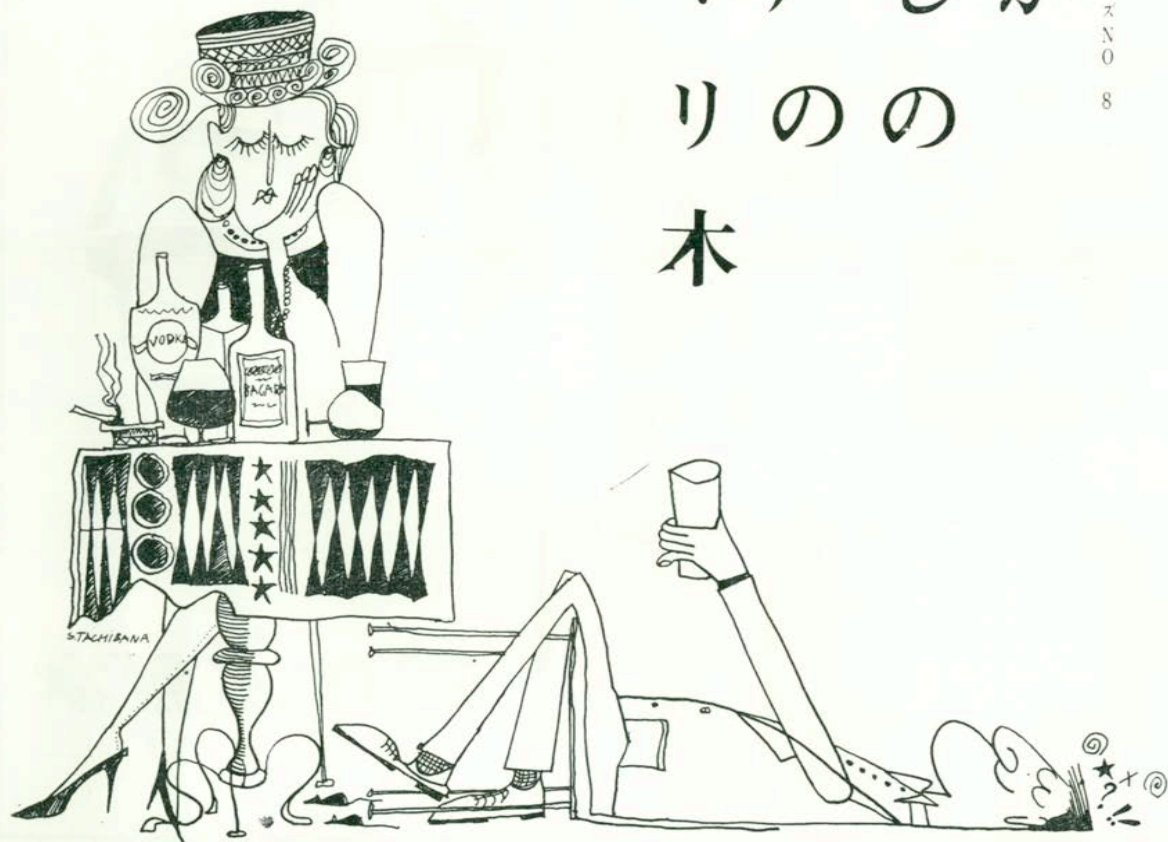


わが愛が
神戸の
トマリの木



バックラスへの讃歌

しらたまの齒にしみとおる秋の夜の酒は静かに飲むべかりけり

この歌を口にする、上戸覚はいわずもがな、酒をあまり愛さない人々の胸にも、なにかしら寂寞とした秋のひそやかさが、しみじみと伝わってくるような気がする。酒を愛し、酒に生き、一生を旅か旅旅と過した情熱の歌人若山牧水のこの歌には、まこと旅先きの宿でひとり静かに盃をかたむける中年男の孤独な姿までが、ありありとまぶたに浮かんでくるような心地さえする。

△秋の夜長をひとり飲む酒のうまさよV思わず、こんなことばが口に出るほど、秋の日本酒は他のどのシーズンよりも、たしかに芳醇な香りでわたしたちを魅了する孤独と芳醇さと……まったく、古典・浪漫的な人間にとって、この季節のアルコールほど、醍醐味の身に沁みるときはあるまい。

だが、時代は移って、今では日本酒のほかにビールはもとより、さまざまな洋酒がデビューして、わたしたちのムードを、夢を、人工楽園を眼前に造型してくる素早さ！コクのある日本酒を口にくませて、人生のそこはかとなき

情緒やたまゆらの思い出に陶然とわれを忘れるのもよいが、チョコに代って底まで澄むコップにつがれた七色の洋酒を、一気にぐっとノドにほうりこんだ時のうまさと爽快さよ！オン・ザ・ロックの水の破片が音立てる鋭的な余韻よエマーソンという詩人はかつて「私は水だけで酔う」といったが思えば、それも詩人という「特殊な人種」の天来の不幸といえるもの。ああ、酒なくて、なんの人生かなーと、思わず、秋のゴールドナイトを無為に過す本当の不幸への憐れみの情が湧いてくる。

△日本酒は人生の香り、洋酒は生活のきらめき……ともにすばらしい人間の伴侶V……こまでは、常識的なさとりながら……たまにはポイドレールの「悪の華」の気持ちにもなつて――

「すべてはみな、おお、いと深き酒場よ、女が この世の敬虔なる詩人の濁ける心のために腹になみなみ貯えたる身に沁む香油に如（し）くべくもなし」と酔い言を吐いてみたいもの。このうえ、恋人とともに杯を合わせて「快哉」を叫び得たら、もはやこの世は人工楽園、現実主義的な人間も瞬間すべてを忘れて、身も魂も恋人と相擁して空中を飛翔しようというものだ。

ああ、日本酒の古典・浪漫派も洋酒の現実派も、いまこそ酒に酔いたまえ。酒の値上げにうらみはあるが、秋の夜長を無為のまま過ごすのも寂しい下戸の策。今宵こそ、酒という「あやしき友」と打ちつれて、こよなき快楽（けらく）の宮殿へ……（あをき）

三宮を中心とした

トマリ木へのご案内

ゴールド

ミス神戸30米下る西側にあるスタンド（ジンフィズのお店）。落着いた感じで、マスターがとても面白い人です。モダン・ギャズがよくかかっています。ビール大200円、ジンフィズ250円（とてもうまい）

一〇〇万弗

農業会館の東隣りを上ったところアベックで仲良く話しているパーテンさん。知らん顔をしているからいい。一番安いウイスキーで55円。

さぬき屋

加納町三丁目目田バス道を西入り一宮神社前にあるヤキ鳥専門の店。材料が豊富、タレが秀逸、そのうえ自由でフットかつ食えるのが安で安心して飲みかつ食えるのが魅力。ビール大150円、酒（1級正1合）90円

スタンドバー（はく）

赤い靴の横を北へ入った正面右突当り。静かで上品なふん囲気、広いカウンターも清潔だし、ウェイトレスもツブがそろっている。客筋はハイクラスで中年向き。ビール小180円

ポビー

三宮センター街中ほどにある花屋さんのすぐ山側の路地を右に入っている。和服のよく似合うママ、淡路恵子を思わず妹さん……とみんな美人ぞろい。客筋もきわめて上品で店全体がエレガントなふん囲気度いっぱい。ビール大200円程度

アンケート

あなたとお酒

- ① 初めて酒類を飲まれたのはいつでしたか。そのときの感想は…。
- ② それ以来何年にわたってお酒をたしなまれていますか。
- ③ お好きな酒の種類と適量は。そしてお飲みになる場所は…。
- ④ 最高に飲んだ量とそのときの気持ちを。
- ⑤ あなたの愛されるお酒に捧げられる一ヶ月分の浄財の額は…。
- ⑥ 「あなたと酒」のとおきおきの忘れられないエピソードは…。

君本昌久

- ① 終戦直後の混乱の頃。飢えを耐えるため当時米どころの山形県の余目の農村へ出かけていったとき白く濁った酒を飲んだのがはじめただ獣の酔いを思い起こします。
- ② それ以来十六年の戦後をつけて飲んでおります。
- ③ 冬は日本酒。これとて白鶴、菊正宗といった上等なものには懐が弱く、もっぱら二流で辛棒してあります。夏はビール（キリン）ウイスキー（サントリー又はトリリス）酒は三合五勺。ビールは二本半。ウイスキーはストレイトでコップ一杯。のみ屋は三宮駅山側の居酒屋、ゆき、モナミ、リリックどん底、ニュートウキョウ、アトラスETC、ETC
- ④ 日本酒四合+ビール四本+ウ

イスキー角ビン半分が最高記録。
 ⑥ 月々によってちがいますが平均二千円ぐらい。
 ⑥ 酔っぱらって傑作な詩一篇を生んだこと。深夜二時頃ワイフが追かけてきた自動車をくらませて完全に神戸の某所へ雲がくれを完了したこと…など忘れられないという話ではありませんが…まあ？
 （市民同友会）

鴨居洋子

- ① 小学生の頃、気のぬけたビールを小らってサトウを入れて飲んだ。その味は大へんステキだった。大人の味だなと感心した。サイダーよりもシュールな味。
- ② 学生のときはともかく、社会へ出てからは十数年のんではいる。
- ③ ビールとハイボール。場所は

あぶはち

元町駅西口下る左側。女の子はなかなかツブがそろっています。マダムはすばらしい美人ですが最近欠勤がち？なのがザンネン。洋酒が各種そろっているのみでみるだけでも楽しいです。この店特製のタールでブレンドしたあぶはちウイスキーの舌ざわりのいいこと。ウイスキーもなかなかよらしい。ハイボール（あぶはちブレンド）90円、ビール大2000円。

ローハイド

ロシヤ料理で有名な「バラライカ」の並びにあるイカス店です。閑学出身の感じのいいマスターと、瞳の美しいお嬢さんが、いつも気持ちよく迎えてくれます。客筋も上品ホロ酔い気嫌でダーツ、ゲーム（投げ矢）を楽しめるのが魅力。日曜日はマスターとお嬢さんが交替で出勤してくれます。ビール大2000円。

フランシユ

フランス語で「純白」という意味。生田新道の赤い靴の横を北へ二度折れたすぐの右小路入る角。ママも、パーテンも、そして二人のお嬢さんもみんなお上品。ゆきすぎないサーピスが気持ちよく、時々凝ったオードブルが出る。ビール大2000円。

オクトップ

生田筋の朝鮮料理「金剛山」の路地を西へ入って十米。ママは松陰高女出身で、第二回アジア・オリンピックに出場、高飛びごみ、板飛びごみに銀賞をとった水泳選手として有名。そのせいか客筋はスポーツ好きで健康なサラリーマンが多い。女の子たちもママににてシロウトくさく、テイネイな物腰

ザックバラシな若者の集まるハイボールスタンドでいど。そこでおどれたらもつといい。

④ ビールなら一本、ハイボールなら二、三杯。気持は大らかになつてごきげん。

⑤ 一万円、まちがえて父親の

⑥ 五才の頃、まだがえて父親の一合の日本酒を一人で飲んで酔っぱらい、知ってる歌をみな唱つてねてしまった。：ということをお人からきいたけど、覚えはない。

(下着デザインナー)

平野威馬雄

① 小生のサケのノミハジメは、偶然にも大阪でした。小学校の五年の時で高津様の下にいた親類の所でノンで、道頓堀で吐きました。その時の酒は今にして思えばナダのキイツボンだったでしょう。

② あれから五十年間：一年に数える位しかのみません。ナダの特級酒か、生ビールをもつぱらタシナミます。最初にのんだ酒はぼくの幼い頭をデングリカエラセました。とに角ほんとうに酒がスキだということとは量とかんけいしないと存じます。今でも、ごく少し、ほんとに少し、心からありがたいと思つていただきます。

③ 今いちばんスキな酒は剣菱と冷たくのむ白雪です。この二つを欠かしたくないけれど、東京では買えないのでさびしく候。剣菱の本舗にそういつてよくに特に送つてくれる様に話してください。ソノカワリ、うんと方々に宣伝随筆をかいて返返しします。

④ 小生ごく少しかのまないから一カ月に千円内外でスマスマ。

⑤ 慾情がハゲシクなるとのみま

す。そうすると清らかなことしか考えません。シラフの時の方が不浄です。そういうイミでのとつておきのハナシたくさんあります。

(作家)

香西精

① 少年時代、父のよ男うにというものはガマンしてのむものだと思つて、へんなものと思つた。

② 五十年。

③ ウイスキー少量。

④ 量不明、苦しい。

⑤ ただの酒が多いので換算したことがない。

⑥ 午前二時、河に落ちた酔漢を救助したことが新聞に出て学校の生徒課で経過をしらべられたとき高校生午前二時に河のほとりを通つた理由の説明にへどもと。

(兵庫米穀KK社長)

甲斐勝郎

① 初めてのお酒は、中学四年(今の高一)になった時、本格的にのみ出したのはやはり、大学の予科(今の高三)に入学したときのクラス会からでしょう。

その頃、今はありませんが、舞台人がよくゆく、お江戸は有楽町の高架下にあった「オデッサ」というバーで、初めてウイスキーとウオカをのまされ、グテグテに酔わされて、吐き廻つたことを今苦々しく思い出します。

② だからそれから今まで。はて何年になりますかな?

③ お年令(とし)のせいで、今もつぱらアサヒのゴールドをのんでいます、とお答えしておきます。場所はやっぱり、おでんや式縄のれん式のところがいちばん好

で応待してくれる。ビール大200円程度。

コトブキ

阪急西口浜側高架前の薬局屋の隣りにあるトリス・バー。マスターが話題の豊富な人です。一杯毎に現金引換え。泥酔された方の入店はお断り、過酔された方には「ストップ」を告げますが悪しからず御身のため、気持は絶対ございませぬ但Y談は何卒心ゆくまで：というのがこの店の営業方針です。ビール大150円、小100円、トリス・ハイボール60円。

マダム・マルソー

阪急西口を北に入る、細長い店。人ざわりのよいママの話術が魅力です。ビール小100円。

酔境

元町ガード下、東口寄りにある料理スタンド。新鮮かつ良質な材料を安価で、手ぎわよく食べさせてくれる庶民的、家庭的な店。ビール大150円、三合徳利(純粋二級)150円。

ここ

北からゆけば生田新道、農業会館の前、神戸トルコの筋を南へ下つた右側、南からゆけば阪急西口から国鉄ガードそばにゆき、ミス神戸の看板をみて北へ上つた左側。ママがおとなしい人で、ムダ口をいわない(ただし借金をためた場合は別)パーテンはなかなか楽しい好青年、なれるとお客様のツマミに手を出すのが玉にキズ。本名「せいちゃん」通称：のチンタ(点線の部内は公開をはばかる)女の子もますますです。トルコ温泉の時間待ち、入浴後の一ぱいに便利なこと。「ここ」で待つて

きです。

④ 酔ってしまふからわかりませんけど、ビールの大ジョッキを昔、二十杯ぐらいのんだ記憶はあります。

⑤ 酔、而如件。

⑥ お江戸の新橋は並木通り近くにこれも今はありませんが（この晴公というおやじが四、五年前中風気味で店をたたんでしまったので）「よしのや」というちいちゃなおでんや。

昔の文芸春秋の連中や、カマクラ組が、未だ皆が皆、所謂駆け出し時代、ビービー時代だった頃がみんなとしても忘れられません。

—文字通り、とくろを巻いて、一本金十五銭也の日本盛を毎日のように、三本四本五本と、のんでいた頃。それだけに、いえない話ばかりが、今、不思議と頭に浮んでくるのです。誠に相すみません。

（甲斐機船K社長）

磯江朝子

① 母の死後、女学生の頃、父の晩酌の前に坐らせられていた折り杯を出されたことがあり、すごくからく嫌だった。以後父も独酌と変わったものだ。

その後昭和の七年頃、津軽照子夫人に始めてよばれてご馳走に言ったおり、お酒と料理しか出す、つい口にしてみたお酒が甘口、夫人の学習院時代の友がこの酒もと白雪に嫁いでいて送ってくるというタル酒だったそうだ。自分が酒のめめること、案外強いことを知ったのもこの日であった。

③ ジンファイズ、誰れかに連れられてゆくおりのみ一杯が適量。

（歌人）

小倉敬二

① 十二才のころ。村祭りの日にオミキを頂いたのが始まり。

② 五十年間ちびり、ちびりとやってきました。

③ 量は自慢するほどのことなし時と所に拘泥せず。

④ おほえはべらず。

⑤ それはわたしの秘密です。

⑥ 福知山へ取材に行ったとき、「鬼ころし」という酒を飲みすぎて寝こんでしまったこと。

（神戸市史編さん室）

古林喜楽

① 十八才のとき、ポートレースのあと先輩におさえつけられ、口を強引にあけられて流しこまれました。その一人が何んと大洋漁業の副社長中部利三郎です。

② 四十年間。

③ ゴールドのビール、オールドレーア、適量は時間さえかければ無限。場所はいろいろ数々あり、書きつくせません。

④ ビール2ダース、夢心地。

⑤ おごられるのが多いですから恥しいほどのほんの少し。

⑥ これを書けば一年中、神戸っ子を独占することになりますので……

（神戸大学教授）

宮崎修二郎

① 昭和十六年、湯ヶ原で日本酒はじめてだったのでつい呑みすぎ上野の駅ホームで汽車とホームの間に落ち「酒は苦しいもの」と思いソロ。

② 本当にのみ始めたのは約三、

から来てんかーと彼女へオホイスからTELにも大丈夫。ビール小120円。

酒場一〇〇番

もとのコペン筋北上がる初めての四つ角左側。クリスチャンのママとその主人の気づぶのよきが楽しいふん囲気を作ってくれる。客筋には船関係が多いが、大学の教授の姿もチラホラ。ビール小120円。

森

生田東門筋を二、三軒北の薬局店の小路を左へ入った角から二軒目小じんまりして落ち着いたふん囲気でアベックにもいいでしょう。ビール大200円。

上高地

喫茶上高地の地下。スタンドが三つに分かれており、かなり広く、サラリーマンやアベックが多い。ビール小120円。

タマリ

阪急三宮「寿」の小路を北に入る左側。若いお嬢さんとパーテンが威勢よく応待。お客さんも若いアベック連れや、学生でいっぱい。ビール小120円。

シルバー

阪急西口の喫茶ゴールドの下。ママの気性があっさりしていい。ビール大200円。

ブランドン

俗にいう三宮レンガ筋、とてもシツクな感じの店で、女の子もそろって美しく、中年向きです。ビール大250円。

くれない

生田新道浜側2階。お茶漬けの店の着物をきた女性が応待してくれる。民芸調ゆたかな店。ビール大

四年前、爾来毎日。

③ 何でもいい(ウソに非ず。ためしにもつて来たまえ。何でものんでみせる)

④ ビール一打とサントリー角ビンを八分目(二分残った)その時夜が明けてきて「早う寝んとアスの仕事にさしつかえる」という気持ちでしたナ。

⑤ 五〇〇〇円位かな?

⑥ やはり①の答えの話です。

(神戸新聞社出版部長)

田中健一郎

① 40才頃、黑白の映画ばかり見ていたのがはじめて天然色映画を見た時のような感じ。

② 約10年、但自分からのみたいたいと思うことは殆んどなし。いつもおつき合いにのみ、のめば楽しくなる程度。

③ ウイスキーの水割り3杯、年の加減でこの頃そんなに行きません。が行けば「クラブコトブキ」「ムーンライト」「飛鳥」「なきさ」「阿い子」「アルセーヌ」など。一人のときは「オリエンタルホテル」のバー。

④ ウイスキーの水割り10杯程度そのときの気持は不明、但翌日は物すごくみじめな気持。

⑤ 不明、大したことなし。

⑥ 酒は飲み方によればまことに好いもので、それに関連した忘れられない話は数多くありますが簡単に書けません。

(甲南汽船K社社長)

永井叔

病気をしていますして御返事がおくれ申しわけありません。由来オサケにあまり縁がなくお答え出来

るほどの資格にもめぐまれません、しかも「自称禁酒会々長」に免じておゆるしくください。

ただ、このひとことを付記し——かく大空一夏の靈酒に酔いしれながら一筆お答え申し上げ候と。

(詩人)

赤尾兜子

① 18才ではじめて日本酒をのみましたが、ノドが焼けつく思いで味はカラク、苦しいばかりでした

② 18年にわたって酒をのんでいますが、8月から胃をやや痛め禁酒近く復活の予定です。

③ 日本酒ならば、タルづめの「忠勇」で三合、のむのは小料理屋洋酒ならばジョニーウオーカーの赤ストレートで小グラスに二、三杯あとで水をのみます。場所はスタンド。

④ 日本酒を一升五合ほど。薬だけ、まるで世間にいるのは自分だけといった大きな気持になりました。

⑤ 1カ月に6000—8000円 (つきだしを含む)

⑥ 一升五合の日本酒をのんだ時ちようど従弟が急性肺患で重体となり、医者呼びにゆく役を買って、医者までいったはよかったがなかなか医者が来ず、ついに死亡。あとで聞くか酔っていて用件が伝わらなかつたということ。それ以来深酒はつつしんでいます。

(毎日新聞記者)

林家染丸

① 七才の時、父のひざに座ってのんだというより、面白半分のみされました。チヨクに三ばい、酒ってうまいもんやナと思いました

150円。

ニレ

阪神地下の有楽街。イスの数は五人程度という小さい店。ビール小100円(つき出し付)

阪急

阪急西口、若い女の子五、六人がカウンターの中心にいてサービス。お客さんも若い層が中心です。ビール小120円。

国際会館サントリー・バー

国際会館地下、ニュー・コーペの前にあるスタンド。とても静かなふん囲気です。少しせますぎるのが玉にキズ。映画のかえりにホツと息つくのにもつてこいのお店です。ビール小180円、ハイボール100円。

一番地

生田神社東門入口。かっぶくのよいママと三人のお嬢さんが、家庭的なふんいきで迎えてくれる。日本酒洋酒、ビールと各種あり。ビール大200円。

半どん

阪神元町地下の有楽街にあるスタンド。ふんい気は家庭的?、神戸の文化人が多いが特色。ビール大150円。程度。

ゆき

京町筋を東へ入る。スタンド・バー和・洋服がどちらもよく以合うステキなママと、ハンサムなバーデンが親切に接待してくれる。学生、BGなど多く、家庭的。ビール小100円

アカデミー・バー

加納町三の交差点北手東入る。丸木を組んだ古風な西洋田舎家風のかまえ。フイズ類300円・カクテル類200円から

② ホトンどかかしません(十四才頃から)何年ですか勘定してください。

③ 日本酒が主ですが、ビール良し洋酒良しです。酒もビールも五本が適量。ごく感じの良いスタンドか酒のさかかに成ってくれる女性がいる座敷、その次が家庭でのむ晩シヤクです。

④ 25才—53才位の時は毎日2升位のみました。のんでる時は天下をとった気持ですが、二日酔した朝は酒の無い国へでも行きたいです。

⑤ お小遣いの大半は酒ですから月に4、5万は降りません。

⑥ 8才の時、留守番をしていて七、八合のんでブッタオレ医者が来るやら、大酒のみで有名だった父を三日間禁酒させました。(落語家)

宮 豊

母の目をこま化すために私を散歩に連れ出した父が立ちよったのは、父の行きつけの小料理屋でした。人みしりする私が、ひとりポツンと腰をかけて、父たちのやりとりを所在なきそうに見ていると「坊ンにはこれや」とその主人が出してくれたのが雀のヤキトリグチャリと噛んで、その頭のがいに思わずはき出すと、父が口直しに、一杯のませてくれました。これがそもその始まりで、酒と浅からぬ因縁を結んだというわけ。たしか小学校へあがつた頃と憶えています。

以来、三十年近く、時には狂乱怒濤の酒となり、時には秋の夜をひとり静かに日本酒と交わりをもっています。

(ラジオ関西プロデューサー)
沼艸雨

① 未成年者は飲酒すべからずの時代に育ったので徴兵検査をさせての正月で、中座の正月芝居を見た時で前のいづもやで友人三人と一本の銚子をあけて真ッ赤になり「成駒家!」とどなったものです。

② それ以来—まだ生きている限りつづけます。

③ うまいと思うのはジンフイズ日本酒もよろしい。要はふんい気にあつたものです。

④ 戦後六人程でビール一箱何本入か知りませんが、それを三箱あげました。その内、私がどれだけのんだかは記憶なし。

⑤ これは不明、だが毎日自分で払うかどうかは別にしてのんでいますから金額にしたらお酒だけでも相当でしょう。このようにいうと大酒家のように思われましようが私は酒なれば一本、ビールも一本、ジンフイズ三グラスが適量です。

⑥ 六代目菊五郎、三津五郎、山城少塚、谷崎潤一郎、吉井勇各氏と戦後間もなく京、木屋町の料亭で芸談数刻の後の浅酌、再び得られぬだけに忘れ得ません。(演劇評論家)

小寺 巖

ビール一本以下というなげない酒量ですから、お答えする資格がありません。

しかし、盃を重ねて神経をまひさせること、その良さも悪さもわからんではありません。

ホロ酔い気分はいいものですね! (神戸国際会館常務取締役)



びんくこーなー

「読書の秋」ですから、こんどは少しマジメな話をしたいものです。「本は大事にいたしましよ」という至極マジメなお話をねだいいち本の身にもなってご覧なさい。いきなり表紙をちぎられたり、紙を破かれたり、ツバをつけたり、紙を破られたり、アブラ汗がしみでるまで読まれたらうえ、最後は汗とアカまみれにされてボンと捨てられたのでは、たまったものではありません。そんな手荒らな読み方はしないで、なでさするよう一枚ずつ丁寧にくめくめて行ってくださいませ。それでこそ、色の白さも一段と引き立つというものはございませぬ。本をマクラの代わりにするのでもいい気持ちなものです。昔から「うたた寝のまくら四五冊引抜かれ」という川柳もあります。本の方も満足でしょう。宮川曼魚さんも「マクラにするなら西洋紙の本より、和本の方がいい」といつています。日本製の方がミメがこまかく、フワリとしていることは定評があります。読書することを昔から「ひも」と申します。書物の軼(ちつ)のヒモをとくからはじまった言葉です。それから転じて、どんなヒモでもいいことになっていきます。「花のひもとく御前のくさむら」と源氏物語の蜻蛉(かげろ)の巻にあります。(T)

(神戸国際会館常務取締役)

朝比奈隆

- ① 高等学校の一年でしたから17才夏の暑い日、神田の食堂で母にすめられて一口のんだ生ビールがとても美味かった。
- ② 45年にもなりますか。ただし本格的なのは大学卒業後ですから丁度30年。
- ③ 和洋、東西、ビールからウオトカ、焼酎まで何れもそれぞれ風情あり。自宅、料亭、酒場、立ちのみ何れも時宜に適するがよし。
- ④ 記憶なし、日本酒にして一升ぐらいか？
- ⑤ これまた不明。もしのまなければ車ぐらいわるかも知れない
- ⑥ 酒も亦刻苦勉強、不断努力の賜であることを痛感、元来弱かった私が仲間に遊んで貰いたい一心で倒れてはのみ、モドしてはのみしたいぢらしさ。

貴理万次郎

(関西交響楽団指揮者)

- 私と酒の関係は、残念ながらさして深くはありません。決して私が品行方正の紳士だとか、無類のカタブツだという意味ではなく、
- ① 七、八才の頃じゃないでしようか。お正月のオトソという奴で
- ② 以来、実に淡々たる仲ですごしています。つまりあまりのんでないという事ですな。
- ③ 強いていえばビール。それも小ビンで結構です。
- 選ぶ場所というのは別にありません。
- ④ 適量をすごしたことが一度、翌日、頭の中を特急列車が通るような気で一日中ノビていました。
- ⑤ 前書きの通りで誇り高き酒徒

の方には叱られそうです。ほとんど使ってません。

- ⑥ 無味乾燥の男と思われまじうが、こと酒に関しては。忘れられない話を持たれた方は幸福だったろうとすらやましいです。(作家)

藤本義一

- ① 昭和18年10月、航空学校へ入る前夜。酒の味なんかわかりません。この家も見納めだと思えました。
- ② 昭和33年暮、寿屋宣伝部へ入るまえ。少しは飲めないと入れてもらえないので、懸命に練習していました。以来この液体とご交際願っています。そろそろ3年、しかしコレに関する限り、生涯、倦怠期はなさそうです。
- ③ 大阪キタの某所ではウイスキーをストレートでダブル・ワン。神戸なら「アカデミー」でブランドーをグラスに二杯。ビールのときは「マダム・マルソー」か「キングス・アームス」で軽く一杯。わが家の豪華なホーム・バーでなら、気分次第でどんな酒でも幾らでも。
- ④ 女性が誰でもキレイに見えて困ります。
- ⑤ あまり安くあがるで、ハズカシくていけません。ホーム・バーは実費だし、大阪キタのさるバーは外人の娘さんがやっているのでボク、そこ、おカネいらがないんです。スママセン。
- ⑥ 酒を飲んだら涙が出てきて困った頃がありました。阪急の梅田から西宮北口までハンカチを離せなかった夜のことなどは、当時、一緒に飲んでいた知人に今もいわれます。ボクの純情詩集。(詩人)

びんくこーなー



「朝寝、朝酒、朝湯が大好きで、それで身上つぶした」という小原庄助さんは果たして実在の人物であったかどうかは今も学界で論争のマトになっっているようです。もちろん地元会の会津では「白虎隊」以上にその実在説を主張していることはいうまでもありません。

ところで、ここに小原庄助さんの実在説を裏付けるような人物があります。白河市の太白山天恩皇徳寺にある「塗師久五郎」の墓がそれです。なくなつたのは安政六年六月十四日。

おもしろいのはその墓誌銘で、表面には「米汁吞了信士の墓」とあり、裏面には「朝によし、昼はなおよし、晩もよし」とあります。「米汁」というから「朝酒」のことでしょう。裏面の文句も、庄助さんの「朝酒」というのと符号します。しかし学問的研究はもつと真剣でなければなりません。「朝によし：うんぬん」というのは果たして「朝酒」のことだけだったでしょうか。

新婚の夫婦がホテルのベットで目を覚ましました。花嫁が「あたい、おなががすいちゃったわ。朝ご飯にしましうよ」といって、花ムコ「よからう。しかし、それはボーイが持ってくる朝飯かい。それとも二人だけできるやつのことかい」庄助さんの「朝によし」も酒のこととは思われません

(T)



BONSOIR MADAME

マダム コンパンワ

クラブ S

生田新道界限は、夜のゴウペ、
のメッカだが、レンガ筋か、その
西側の通りから北へ約一丁半行くと、
ズラリと並んだバー街の中段
に、黒い字で「クラブS」と書いた
看板灯がかかっている。入口も
黒いよそおいだが、ドアをあけると
内部も黒いつくり―黒づくめの
細長い空間からラテン音楽が迫つ
てくる。

「なるほど適当な黒さ（暗さで
はない）の中では、美人がよけい
に美人に見えるね」とジョウダ
ンまじりにいうと、「まあ、口の
悪い、でも、いつも強烈な刺激と
光線に疲れている現代人には、こ
れぐらいの黒さは必要じゃあない
かしら」と笑顔で答える。

小柄な方だが、まだ若くて黒目
勝ちのマダムの福島里子さんは
特別な話しようともいえないが
なかなか愛想がよい。しかも、親
切味こぼれる応待ぶりはじつに気
持がよい。この親切味がどの女の
子にも通じているためか、初めて
の客でもすぐにくつろいだ気分にな
って、女の子を相手に歌ったり
茶目ぶりを発揮したりしている。

お客は貿易商はじめさまざまら
しいが作家の白川渥氏や京都伸夫
氏などもジャーナリストといっし
よにときたま現われる。これも、
この店が気軽に愛想よくて、ちょ
っとばかしエキゾチックでという
ことの魅力からか。マダムが自動
車の名？ドライブであることも
一言つけ加えさせてもらおう。

(A)

浅酌微醺

及川英雄

秋も深まり、酒の美味さが腸に沁みることとなった。一夏を越した日本酒の味は、いよいよこれからが絶頂だ。退院以来まる三年間、酒を断つてはいるものの、秋風そぞろ身に沁むころともなれば、やはり日本酒の魅力を感じるが、三十余年の心の糧であつてみれば、そう簡単に別れられないのが当然なのであろう。

酒屋を営めば五百年間地獄に行く。と小乗の經文にあるそうだが、大酒のみが貧乏することはたしかだろ。しかし、なかなか酒のみが酒を断つということは、よほどの覚悟がなければ出来ないことであらう。辻潤の高弟だった宮部鉄心の歌に

夜となれば心乱れて、たえがたし、屋台おでんの蔭に佇む

と、いうのがあるが、幾たびか師に禁酒を誓いながら死ぬまで酒の上での失敗をくりかえした鉄心だったが、「吾が禁酒やぶれかぶれとなりけり、そらつげ、やれつげ」の蜀山人の歌のようになつてしまつたのであろうが、いっそ、それなら守屋仙楠のようにわれ死なば酒屋のカメの下にうめよ。もしや雫のもりやせんなん

と、この辞世の歌にまで徹したらどうだらう。私なども、半歳余の病床生活の心労がなければ、少しくらいの医師の注意では、なかなか今日のようなことにはなれなかつたと思ふ。今では、酒は自分に毒なんだと思ひこんでいるから、麦酒一編とうになつてはいるが、独りで飲むことは少なく、つい酒席などでは友のさす杯を受けたりするが、そのことが忽ち翌日の健康にひびくので、やはり酒は飲めないのだと諦めているわけである。

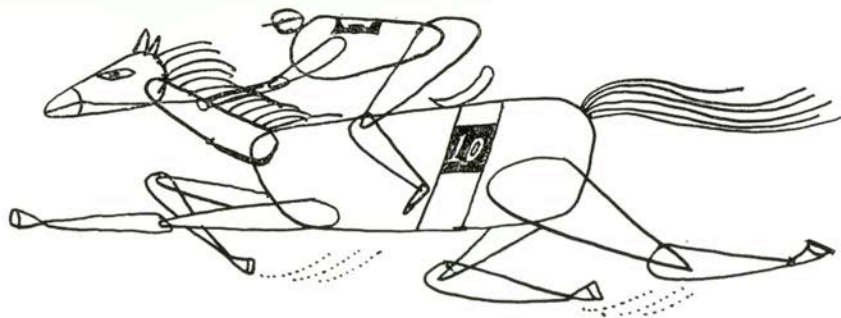
古い酒のみ仲間である仲郷三郎、吉沢独陽、土井神な

ども近ごろはめつきり酒量の減つたのが目立つようだ。

特に「たまには醒めていることもある」とさえ云われてきた酒仙独陽も、ひところは何か心に決するところがあつたらしく、一時はびつたりと酒を断つていた。朝から眠るまで殆んど酒の気の切れなかつた独陽の断酒なので私たちも驚いたものだが、よほど心にこたえたものが有つたに違いない。近ごろは少しは飲むようだが、酒量は以前とはてんで問題にならない。しかし、まあ六十路に入ればその方が躰のためだろう。世上よく酒のみと称せられる人が決つて大酒家というわけではなく、良かれ悪しかれその特徴（酒癖なり酔態）が噂さされるようだが、いつだつたか菊正の嘉納治兵衛さんと対座したとき「私の酒は相手次第で、相手が二、三合だと私もその程度で良い気持になるし、五合ならこちらも五合、たまに一升相手の人につき合つてもその通りで、自分でも真の酒量というものが分らない」と云う話を聞いたが、こういう御仁がほんとうの酒豪なのであろう。上戸不知毒下戸不知薬。という言葉があるが、つまり、毒たるの限界を知り、又、薬たるの効用を知つて飲むようになれば一人前の酒のみかも知れない。元より気分が飲む酒ではあるが、日本酒の飲み方は最初の十分間ほどが大事だと思ふ。「酒はしづかに飲むべかりけり」と、牧水は歌っているが、初めの十分間ほど、ゆっくりと杯を重ねていくように心がけると、決して悪酔などするものではない。駆けつけ三杯などという急ピッチは、あまり感心したことはない。

若いころとは違つて、初老ともなれば、やはり天の美祿のもつ良き効用を身につけるように、終世、酒を愛したいものだと思ふ。云うなれば浅酌微醺、ほろ酔い人生というところであらう。

(作家)



編集後記

・ロマンティックなムードをおとどけた先月号に変わって今月は座談会「おとこのオンチャレ」「酒特集」とくっつと男性版です。ところで「酒特集」では、その界で「酒豪」と噂も高き(？)人たちにアンケートをお願いしましたが、いや実にその「ご返信」の早かったことオドロキました。どなたもお好きな「お酒」のこととして、回答は詳細にわたり、しかも楽しいものばかり。さて「横網」はどなたでしようね

・いつも編集っ子が苦労するのがセンター頁の写真撮影です。今月は渡川神社のハトを使って動感のあるフアッシュョン写真を企画。ところがです。悲しいことに、いくらマメでハトを寄せ集めても、いざ本番となるとサツパリいうことをききません。ついにマメ売りの小父さんまで総動員して「ハト寄せ」ですが、これもてんでダメ。マメをやるのをケチったんではないんですよ。なんとカメラがこわくて寄りつかなかったんです。これでは名カメラマンもお手あげ「鳩ポッポ」の歌が、うらやまし

い一日でした。

・セカンド・カバリーの「神戸の女性」に「神戸っ子」にふさわしいお嬢さんをご紹介したいと、ポイ・ハントならぬガール・ハントに大わらわです。ステキな方がいらしたら、ぜひ推薦して下さい。もちろん自薦も大歓迎です。

・号を重ねるにつれ、読者の方からいろいろなお手紙いただいておりますが、紙面の都合で掲載できないのが残念です。お許しください

(I)

月刊「神戸っ子」案内

早月刊「神戸っ子」を毎月御購読下さいます方、神戸を離れているお友達にプレゼントなさりたい方は編集室宛にお申込み下さい。6ヶ月分・500円(送料共)

☆誌上紹介の各神戸の銘店にはお客様へのサービス品として「神戸っ子」がおかれています。

☆「神戸っ子」をお求めのさいは左記の本屋さんでどうぞ。

文洋堂・国際会館1階/海文堂
・元町3/漢口堂

アメリカ文化センター前

神戸の女性

梁瀬 瑛子さん

昨年の「海の女王」に選ばれた身長1・64米と均整のとれた近代女性です。ハキハキと明かるい性格は職場(大丸神戸店勤務)でも人気の的。趣味は音楽、手芸、読書と幅広く、スポーツはスケートが得意。

山手女子高卒、21才

カメラ 杉尾 友士郎

しあわせをあなたの家庭に運ぶ
よい商店・よい商社えのご招待

(ページ順)

大丸.....表1

竹馬産業K・K.....表1

神戸日野自動車K・K.....2

北村真珠K・K.....7

風月堂.....7

田崎真珠K・K.....14

ウエダ.....14

カノヘ.....15

マキン.....15

かんがら摩.....19

柴田吉洋服店.....19

本田良介商店.....20

なよしや.....20

兵庫トヨタ自動車K・K.....23

ニスターニユートン.....24

シラサ.....24

メジマ.....24

イクシマヤ.....24

トーレイ洋装店.....24

五夢.....24

元町バザ.....33

三恵洋服店.....33

本田ベッ甲店.....33

千秋堂.....33

クサキヤ.....34

美田時計店.....34

神戸屋.....34

元町電機.....34

神戸シヤン.....35

ドンク.....35

ノぼや.....35

スギヤ.....35

大黒正宗.....36

長崎堂本店.....36

淡洲堂.....36

国際コンタクトレンズ研究所.....36

半井メガネ.....37

くしや化粧品店.....37

ユーハイムコンフエクト.....表3

海本本真珠K・K.....表4

- 本誌広告により広告主へ直接御注文やお問合せの際は「神戸っ子」広告による旨お書き添え下さい。
- 広告主の住所不明な時は「神戸っ子」編集室にお問合せ下さい。お取次いたします。
- 「神戸っ子」に広告掲載御希望の向きは「神戸っ子」営業部宛御照会下さい。「神戸っ子」編集室

北欧の銘菓

クッキー

ピラミッドケーキ

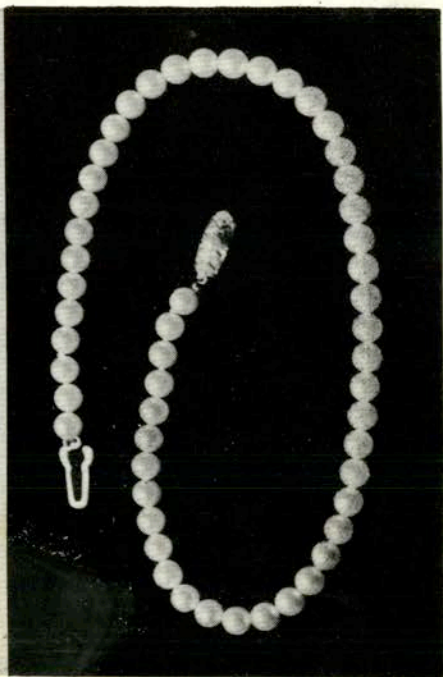
バウムクーフェン（ドイツ名）

ムンデッド

ユーハイム
コンフェクト

工場 神戸市葦合区熊内町1丁目・②2336
神戸市三宮町2丁目・③4314
三宮店 神戸三宮生田筋(階上喫茶室)③0156・7343
芦屋店 省線芦屋駅前通り・芦屋5605
大丸店 神戸大丸地階銘菓街
阪急店 大阪阪急地階食料品部





ユキエ、生れてはじめて身につけた宝石が真珠なんです。それからも フシギな
くらい縁が深くて……と朝丘雪路さんのお話。ユキエとは、朝丘さんご自身のこ
と。そして真珠とは、もちろんミキモトパールのことです。

MIKIMOTO PEARLS 

御木本真珠店

神戸—神戸国際会館 大阪—新大阪ビルヂング
本店：東京銀座四丁目 ネックレス／¥ 6 000ヨリ ペンダント／¥ 8 000ヨリ